

報告書をご活用ください

～自治調査会では、幅広い分野の調査・研究を行っています～

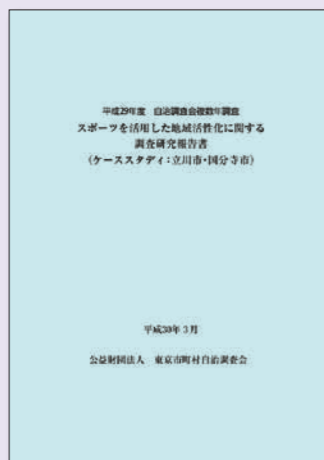
自治調査会では、昭和61年の設立以来300件を超える調査研究報告書を発行してきました。

平成20～29年度に発行した調査研究報告書は、当調査会ホームページ (<http://www.tama-100.or.jp/>) にて閲覧・ダウンロードすることができます(一部の報告書を除く)。

今回は、平成29年度に実施した調査研究等の報告書を紹介します。

スポーツを活用した地域活性化に関する調査研究報告書 (ケーススタディ:立川市・国分寺市)

本調査研究は、平成28年度に実施した「多摩・島しょ地域におけるスポーツを活用した地域活性化に関する調査研究～スポーツコミッションの機能に着目して～」の調査結果をポイントを絞り込んで深掘りしたものです。スポーツを活用した継続的なまちづくりの可能性を提示するために、立川市と国分寺市をモデル地域に選定し、具体的地域におけるスポーツコミッション設置の可能性を察しています。



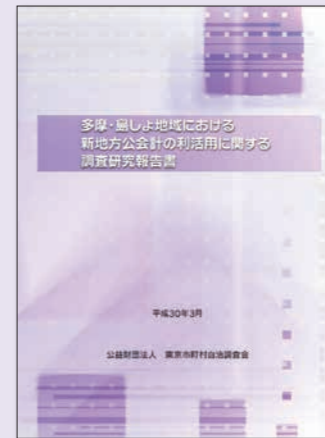
多文化共生に向けた地域における国際交流に関する調査研究報告書

本調査研究では、外国人住民に対するコミュニケーション支援や国際理解・異文化交流にとどまらず、外国人住民の生活や地域での活躍を支えるための多分野における横断的な取組と、これを着実に推進するための基盤づくりに必要な取組を提示しています。



多摩・島しょ地域における新地方公会計の利活用に関する調査研究報告書

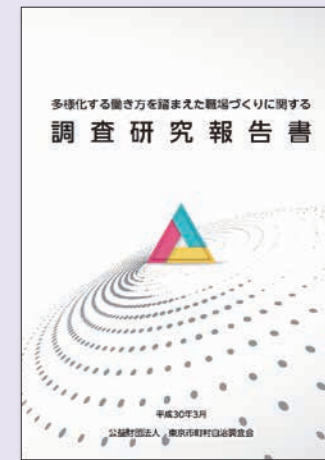
本調査研究は、新地方公会計を「作って見せる」だけではなく、「利活用する」ための方法論を提示するとともに、多摩・島しょ地域の自治体が利活用の際に参考となる事例等をケーススタディとして示しています。そして、適切な自治体経営、ひいては将来のまちづくりにつながる政策を提言をしています。



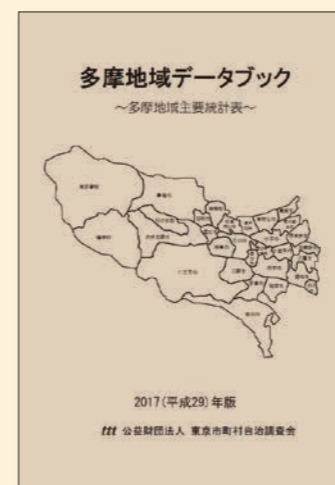
多様化する働き方を踏まえた職場づくりに関する調査研究報告書

多様な働き方の実現は、女性活躍やワーク・ライフ・バランスの推進に加え、労働力不足解消や生産性向上に向けて、様々な制約のある人も働ける環境を整備するという観点から求められています。

そこで、本調査研究は多摩・島しょの市町村が、多様な働き方を進める上での課題等を明らかにし、実際に取り組を進める上で参考になる提言を行っています。



多摩地域データブック 2017(平成29)年版



今後のまちづくりや政策形成など行政運営上の基礎資料として、「人口・土地」、「産業」、「都市基盤」など主要な統計データ集を作成しました。

多摩地域ごみ実態調査 (平成28年度統計)

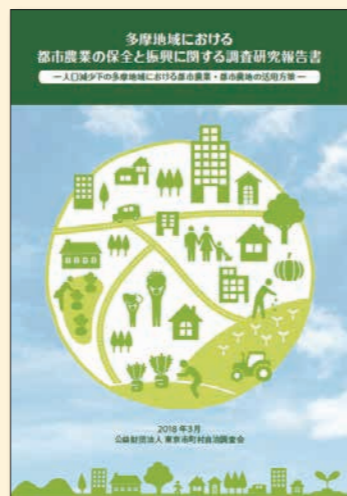


多摩地域の清掃事業及びリサイクル事業に関する基礎的な統計データ集を作成しました。

多摩地域における都市農業の保全と振興に関する調査研究報告書 ～人口減少下の多摩地域における都市農業・都市農地の活用方策～

本調査研究では、都市農業・都市農地の位置づけが大きく転換された時機を捉え、今後自治体が農業振興や都市農地を活かしたまちづくりにどのような視座で取り組むべきか、その方向性を示すとともに、実際の取組を進める上で参考となることを目的に、社会動向の整理・分析とその方策を提言しました。

今後は、農地利用形態・農業経営形態の多様性(ダイバーシティ)を高めていく必要があるとの認識のもと、将来のまちづくり実現に向けた具体的施策を、「都市農地利用」「都市農業経営」「都市の食農流通」の3つのアプローチで提案しています。



市町村財政力分析指標 (平成19年度から平成28年度)

財政力指数や経常収支比率など計11の分析指標を、過去10年度分掲載したデータ集を作成しました。

市町村税政参考資料 (平成19年度から平成28年度)

主要税目である市町村民税などの調定収入状況等を、過去10年度分掲載したデータ集を作成しました。